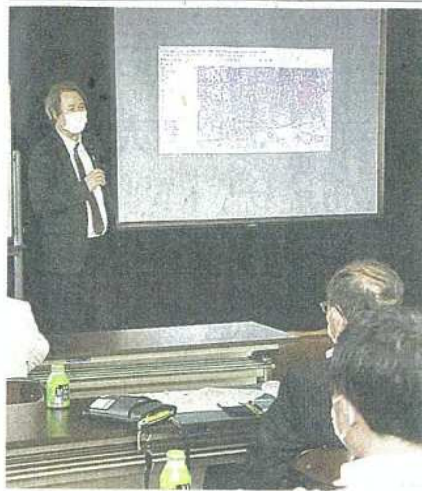


「地域の 新象徴を」

静岡理工科大
佐藤教授講演
磐田文化会館跡地活用



磐田市はこのほど、市民文化会館と文化振興センター跡地の利活用に関する第3回懇話会を市役所で開いた。懇話会メンバーの静岡理工科大(袋井市)理

工学部の佐藤健司教授が、国内外の都市整備計画や建築について講演した。自治会連合会や地元の子育て世代、学生などのメンバー計約20人が「まちづくり」について理解を深めた。

佐藤教授は「建築の設計では、人間が建物内でどう活動するかを重視する。都市計画も同じで、人間がどう生きていくのかを考えるのが基本」と前置した。

磐田市の遠江園分寺公園や旧見付学校の跡地には新しい地域のシンボルを作るべきだ。人々の心よりどころになる文化や歴史の施設が良い」と指摘した。

聴講した各メンバーは自身の意見を記述し、市側に提出した。意見は今後、メンバー間で共有するという。

た。磐田市の遠江園分寺公園や旧見付学校の跡地には新しい地域のシンボルを作るべきだ。人々の心よりどころになる文化や歴史の施設が良い」と指摘した。

聴講した各メンバーは自身の意見を記述し、市側に提出した。意見は今後、メンバー間で共有するという。